

## 活動報告

- 活動日：2024年2月18日 9:30~11:30
- プログラム名：シイタケの駒打ち作業
- 活動場所：もりのいま横ピロティ
- 参加者：計15名
- 活動概要：シイタケの駒打ち(楢木40本分)



### ■活動内容：

森会ではシイタケ栽培のため11月にクヌギを伐採しクヌギを乾燥させるため葉がらしを行いました。1月に葉がらししたクヌギから、直径10~15cm程度のクヌギの幹の部分1mの長さに玉切りし、楢木を作りました。

本日はその楢木にシイタケ菌の駒打ちを行いました。15名の参加のもと、初めにセンター前で本日の作業とシイタケ栽培法の説明を行いました。道具準備の後、旧管理事務所西側の「もりのいまピロティ」横のスペースに移動し、ブルーシートをコンクリート上に全面に敷き、そこで、シイタケ駒打ちを行いました。

楢木を持つ人、穴あけ場所を竹の棒で指す人、電気ドリルで穴をあける人の3人一組で作業を行います。教科書通りに20cm間隔で穴をあけていくのはなかなか難しく、切り口にチョークで印をつけると打つ位置がわかりやすいとの発案で、印をつけて打つとうまくいきました。穴をあけた楢木は、コマ打ちの作業場に移動させ、そこで、子どもと一緒に、ハンマーでシイタケ菌の入ったコマを打ち込みました。今後は、自然観察センター職員で仮伏せ、本伏せをして楢木の管理を行ってまいります。シイタケが楢木からでてくるまで最低2年がかかるとのことで、時々、ホダ場をのぞいて、楢木を観察し、シイタケの収穫を楽しみにしたいと思います。



〈ドリルで楢木に穴をあけます。〉



〈穴にシイタケ菌の付いた駒を打ちます。〉



〈午前中の作業で檜木 40 本にシイタケの駒打ちを完了できました。〉

- 活動日時： 2024年2月18日（日）12：10～15：00
- プログラム名：アカマツ林整備作業
- 目的：アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成
- 活動場所：アカマツ林 C、E、F 地区
- 参加者：11名
- 活動概要：シダ・萌芽枝刈り、作業道整備、作業道用資材作り

#### ■活動内容

しいたけコマ打ち活動あとの午後、穏やかな日差しの中でアカマツ林整備作業ができました。シダと萌芽枝刈り、作業道整備、作業道用の資材作りを3班に分かれて行いました。

シダ、萌芽枝刈りは今年度これまで手を入れられずにいたC地区作業道より下部の斜面及びF地区斜面で行いました。アカマツ幼木の生育と実生の芽生えに期待を込めて作業しました。

作業道整備は前回の活動でE～F地区に設定したルートを山（唐）グワ、スコップを使って地ならしをしていく作業を行ないました。木の根っこが多く体力を使う作業でしたが、全体の4分の1ほど完了することが出来ました。

作業道用資材作りはF地区奥で主に直径10cm位の小径木を伐り、幹を60cmの長さに切り揃え作業道の横木用に40本位作る作業を行ないました。残った材も縦杭や道の側面用に活用することにしました。細い枝を手ノコで落とし、太い幹をチェーンソーで切った後に1か所にまとめて、次回の整備作業に備えました。

今年度のアカマツ林整備活動はこれで終了ですが、作業する場所がほとんど傾斜地でしかも急斜面の多い中、先ずは怪我無く終えることが出来て良かったです。幼木が生育しつつある林の様子には活動の遣り甲斐を感じます。

